



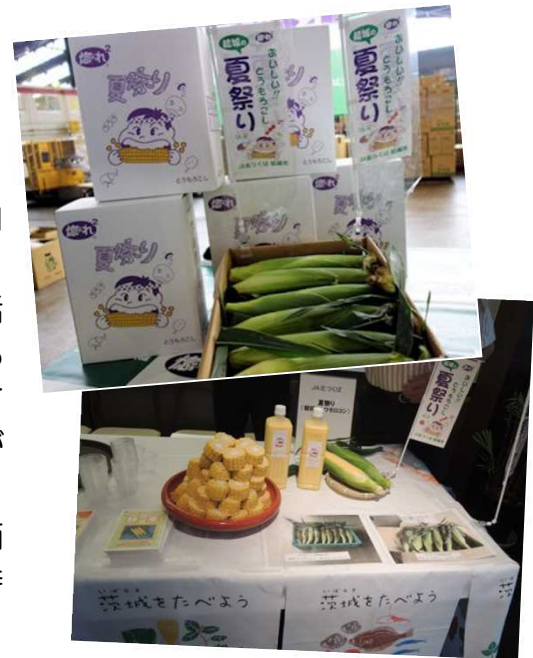
第70号  
H26年7月18日

発行 結城地域農業改良普及センター  
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682  
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>  
<http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/nourinjinmu/kensei/youki/index.htm>

## JA北つくば結城園芸部会トウモロコシ部 「夏祭り」今年も盛況！！



結城市は、全国でも有数のトウモロコシの生産量を誇る産地です。JA北つくば結城園芸部会トウモロコシ部は、部員数82名、栽培面積170haで、部員数、栽培面積ともに増加しており、非常に活気ある部です。同部では、甘みが強くジューシーで皮もやわらかい“味来（みらい）”という品種を「夏祭り」という独自ブランドで販売しています。



「夏祭り」ブランドのPRのため、今年も同部では、大田市場セリ台前での試食を始めとした市場PR、茨城マルシェ（銀座）での都内一流シェフへの試食会など、様々な広報活動に取り組み、普及センターも活動支援を行いました。どちらのPR先でも「夏祭り」は大変好評で、「こんなに甘くて美味しいトウモロコシは食べたことがない！！」などの声が多く聞かれました。

地元では、JA北つくば直売所「きらいち（結城店・筑西店）」で購入可能（5月中下旬～7月）です。皆様も旬の時期には、地元の名産品をぜひご賞味下さい。

## ナシの新品種を視察



ナシの摘果が一段落した7月上旬、管内のナシ生産者が農研機構果樹研究所で新品種の視察を行いました。9月下旬から収穫できる「甘太」や、幸水の前に収穫できる極早生品種などが開発されていました。茨城県で育成された「恵水」とともに、これから魅力的な新品種が続々登場する予定です。

本年の梨の生育は順調で、8月の「幸水」から、「豊水」、「あきづき」、「新高」、「にっこり」と順次10月まで品質の高いおいしいナシが出荷される予定です。



# 平成26年度農村女性ネットワークゆうき総会・研修会を開催

6月3日、普及センターにおいて、管内の女性組織で構成されている農村女性ネットワークゆうきの総会と研修会が、会員23名の参加により開催されました。

研修会では、古河市の女性農業士でグリーン・ツーリズム等を取り入れた活動をされている鈴木さんを講師に迎え、リップクリーム作りを行いました。講師宅で採れた蜜蝋をピーラーで削り取り、植物オイル等の材料をビーカーに入れ、湯せんで溶かしたものをリップスティックの容器に流し入れ、固まるまで待ち、最後にラベルを貼り完成です。

研修後は、ハチミツの試食や、ハチミツを入れたレモネードが振る舞われました。会員たちは色々な種類のハチミツや鈴木さんの持参した

蜂の巣に興味津々の様子で、普段あまり手作りする事のないリップクリーム作りを体験でき、非常に有意義な研修となりました。

今後も、普及センターでは女性農業者の資質向上のための研修会開催や、女性起業者の育成、6次産業化を支援していきます。



## 平成26年度農業学園アグリ講座が開講しました！

6月13日、普及センターにおいて、平成26年度農業学園アグリ講座開講式および第1回講座を開催し、新規就農者や若手農業者7名が参加しました。

講座では、猪瀬農業経営士と後上青年農業士を講師として迎え、仲間づくりや理想を持つことの重要性をご講演いただきました。

その後は、両講師を囲んで意見交換会を実施しました。農薬の使い方や農業制度資金などに関わる質問が多く交わされ、大変有意義な時間となりました。

普及センターは、今後も農業学園生の役に立つとともに農業の良さを分かっていただけのような講座を開催していきます。興味のある方は、普及センターまでご連絡ください！

### 病害虫ノート 斑点米カメムシ類 雑草防除の徹底を

米の外観品質を低下させる有名な害虫です。穂揃期に成虫を防除し、その後は出穂20日後頃の幼虫の発生盛期に防除を行きましょう。

カメムシはイネ科雑草地等に生息し、出穂とともに水田に移動して穂を吸汁・加害し、葉や穂へ産卵する性質があります。農薬散布による防除も大切ですが、畦畔の除草も有効です。なお、水田内の追い込みを避けるため、水稻が出穂する2週間前までに、除草を完了させてください。



クモヘリカメムシ

### ★編集者より★

水田で、仰向けで泳ぐ不思議な生き物“ホウネンエビ”を発見しました！漢字で“豊年蝦”と書き、発生が多い年には豊作になると言われているそうです。

(後藤)



写真：大阪市立自然史博物館HP